

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233112106	教育原理 Principles of Education	近藤 茂明		教職	2	選択	1後期

科目の概要

本授業では、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの感性を高めて社会に貢献する教師の資質能力の育成を目指し、教育思想史全般に関わる基本的内容を取り上げる。その学習内容は各時代を代表する人物の考え方を理解し、そこに自分自身の被教育経験を重ね合わせ、これからの教育を考えるための基本的な視点を考える。また、毎授業の進め方は事前予習に基づく基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込み、実践的な理解の習得や主体的な態度の育成につなげていく。

学修内容	到達目標
① 教育思想史全般に関する基本的内容を理解する。 ② 学修内容を実践的な視点に重ね合わせて考える。 ③ 話し合い活動、発表や文章等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 教育思想史を代表する人物の考え方や特徴を理解することができる ② 学修内容の理解に基づき、自分自身の被教育経験と重ね合わせて考えることができる。 ③ 集団的な学修活動を通して様々な考え方を比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修課題等に対して柔軟で多様な考え方をもって取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考え方を導き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学修活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料は授業中に配布する。
 参考文献：必要に応じて、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

本科目「教育原理」は教職科目として配置され、同年の教職入門とともに基礎的理解を図り、その後に履修する教育方法論（2年）、教育課程論・総合的な学習の時間の指導法（3年）において専門的理解を深め、栄養教育実習（4年）において実践的理解へと発展させていく。
 関連する資格：栄養教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 ・毎時間の学修内容は、予復習(課題)において関連する情報収集を積極的に行い、理解を深めるとよい。	・毎授業で配付する学修資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう、または担当教員から受け取る。 ・授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開して記述しているかを評価する。 以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 授業内容を基に記述しているか。 論点を整理して記述しているか。 自らの被教育（学習）経験をふまえて記述しているか。 自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 （4項目＋独創性＝S、4項目＝A、3項目＝B、2項目＝C、1項目以下＝F）		
			②				
			③				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
		レポート	40	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の最後に行う振り返りと予復習の点数を平均して判定する。 （学修内容をふまえ、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する）
				②	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①		<ul style="list-style-type: none"> グループワークや全体発表等における表現内容・方法の明確さを評価する。 話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も判定として加える。 			
		②	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） ・学修課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 （実行力） ・明確な目標設定を行い、それに向かって根気よく取り組むことができる。 （課題発見力） ・与えられた課題を広げ深め、自分自身の課題として発展させることができる。 （創造力） ・他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学修活動に取り組むことができる。 （発信力） ・自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 （傾聴力） ・相手の考えのよさを受け入れながら自分の考えを深めることができる。 （規律性） ・遅刻や私語を自粛し、円滑な学修活動を創り出すことができる。		
			②				
			③				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点を明確に整理して自分の考えを論理的に記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の要点を的確に整理して焦点を絞って自分の考えをまとめることができている。 話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら多様な考えを表現することができている。 授業参加において、全体の学修活動を高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。 提出物に対する取り組みにおいて、学修を深めようとする姿勢ならびに成果を確実に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点をふまえて自分の考えを記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の内容に触れて自分の考えを振り返ることができている。 話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。 授業参加において、自分自身を自制した態度で学修活動に取り組むことができている。 提出に対する取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 ・教育思想史を通して、教育原理を学ぶ意味を理解する。 ・Classroomの活用法を確認する。(連絡・情報共有等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業全体の目的、進め方、留意点を理解することができる。 	(予習) シラバスに目を通し、本科目の概要を理解し、関心のある人物について調べる。 (復習) 本時の学習内容をノートにまとめる。	180	規律性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・古代における「哲学と教育」の関係を理解する。(ソクラテスを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	実行力 創造力
3	<ul style="list-style-type: none"> ・中世における「ルネサンス・宗教改革と教育」の関係を理解する。(ゲーテンベルク、ルターを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	課題発見力 発信力
4	<ul style="list-style-type: none"> ・中世における「子ども期の誕生」について考える。(アリエスを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	実行力 創造力
5	<ul style="list-style-type: none"> ・近代における「教育学の誕生」の経緯について考える。(コメニウスを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	課題発見力 発信力
6	<ul style="list-style-type: none"> ・近代における「産業革命と教育」の関係を理解する。(ペルランカスターを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	主体性 創造力
7	<ul style="list-style-type: none"> ・近代における「子どもものの発見」の意味について考える。(ルソーを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	主体性 発信力
8	<ul style="list-style-type: none"> ・近代における「教授学の体系化」について考える。(ヘルバルトを中心として) 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。 	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・現代における「児童中心」の教育について考える。(デューイを中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	
10	・現代における「教育の現代化」について考える。(ブルーナーを中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	課題発見力 発信力
11	・現代における「教育の権力性」の意味について考える。(フーコーを中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	実行力 創造力
12	・現代における「学校化社会」について考える。(イリイチを中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	課題発見力 発信力
13	・日本の明治期における「教育の近代化」について考える。(福沢諭吉を中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	主体性 創造力
14	・日本の大正時代における「新教育」について考える。(大正新教育の実践を中心として)	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本時の学修内容に対して関心や課題をもって調べ学習を行う。 (復習) 本時の学修を整理し、さらに深める課題をみつけて調べ学習を行う。	180	主体性 発信力
15	・授業全体を総括し、教育思想と自己の被教育経験を重ね合わせ、今後の教育のあり方について自分の考え方をまとめる。	・予習フィードバック ・講義 ・グループワーク(随時) ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有ならびに課題提出	・本時の学修内容における重要なポイントを理解し、自分自身の課題を分かりやすくまとめて記述して発表することができる。	(予習) 本授業全体で関心をもったことに対する考えをまとめる。 (復習) 本授業全体の学習内容をノートにまとめる。	180	発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力